

第77回日本臨床眼科学会

- 日時** 2023年10月6日(金)～10月9日(月・祝)
- 会場** 東京国際フォーラム (〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1)
JPタワーホール&カンファレンス (〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-7-2)
- 学会長** 大鹿哲郎(筑波大)
- 副学会長** 大原睦子(茨城県眼科医会)
- プログラム委員長** 白井智彦(国際医療福祉大)
- テーマ** IMAGINE THE FUTURE ～想像の向こうへ～
- 参加登録** 事前: 2023年3月1日(水)～8月1日(火)(予定)
後期: 2023年9月上旬～11月30日(木)(予定)
※今回の事前参加登録は、オンラインクレジットカード決済またはコンビニ決済でのオンライン登録のみです。郵便振替登録は行いません。
- プログラム** 特別講演
近藤峰生(三重大)
高橋政代(神戸アイセンター病院/ビジョンケア)
- 招待講演
Oliver Findl (Vienna Institute for Research in Ocular Surgery, a Karl Landsteiner Institute, Hanusch Hospital, Austria)
落合陽一(筑波大・デジタルネイチャー開発研究センター)
- シンポジウム
- ・IMAGINE THE FUTURE ～来るべき眼科のミライを語ろう
 - ・IMAGINE THE FUTURE ～眼科におけるアンメットニーズ
 - ・IMAGINE THE FUTURE ～眼科研究の現状とミライ
 - ・IMAGINE THE FUTURE ～白内障手術の問題点とミライ
 - ・角膜内皮疾患とその治療 サイエンスとテクニック
 - ・涙液とオキュラースーフェスの最新知見
 - ・超高齢化社会に向けた緑内障診療戦略
 - ・緑内障における組織障害検出法: 網膜から視覚野まで
 - ・糖尿病網膜症の最新治療とホットトピックス
 - ・網膜疾患の初期病態とバイオマーカー
 - ・ロボティクスを活用した網膜硝子体手術の現状と未来
 - ・眼科アレルギー疾患の診断と治療の実践
 - ・感染性角膜炎診療のEBM—感染性角膜炎診療ガイドライン第3版はどう変わったか?—
 - ・屈折異常と調節から考える斜視治療
 - ・屈折矯正法の利点・欠点と将来像
 - ・眼窩内血管性病変の治療戦略
 - ・網膜色素変性症の日常診療の創意工夫—視機能に即した眼科医療を目指して
 - ・眼科医と産業医による労働安全衛生マネジメント
 - ・眼科医が知っておくべき法律の「もんだい」
- 病医院運営プログラム
- ・視覚障がい者の社会参画
- ナーシングプログラム
- ・コロナ禍におけるワークライフバランス
- 視能訓練士プログラム
- ・白内障手術前後の視機能評価と管理～quality of vision (QOV) 向上を目指して～

その他

一般演題（講演・学術展示）、専門医制度講習会、屈折矯正手術講習会、オルソケラトロジー講習会、羊膜移植講習会、インストラクションコース、（一社）日本眼科医療機器協会併設機器展示、各種セミナー（モーニング、ランチョン、イブニング、フェアウェル）、市民公開講座

詳細は随時ホームページにて公開します

ホームページ <https://www.congre.co.jp/77ringan/>

運営事務局 株式会社コングレ（〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング）

Tel. 03-3510-3701 Fax. 03-3510-3702 E-mail: 77ringan@congre.co.jp

お問い合わせは運営事務局へお願いします。

第 60 回六大学合同眼科研究会

日 時 2023 年 9 月 16 日（土） 13 時 30 分 開会予定

会 場 九州大学医学部百年講堂大ホール

プログラム 特別講演 1 海老原伸行（順天大浦安病院）

特別講演 2 杉山和久（金沢大）

教育講演 武田篤信（九州大）

連絡先 九州大学眼科学教室（〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1） 医局長：石川桂二郎

Tel. 092-642-5648 Fax. 092-642-5663 E-mail: oculus@med.kyushu-u.ac.jp

研究会は日眼生涯教育事業（1 日 1.0 単位）に申請中

第 253 回 O.C.C.

日 時 2023 年 10 月 21 日（土） 14：00～17：00

会 場 第二吉本ビルディング（大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 8 階）

テーマ 網膜硝子体手術 update 2023

連絡先 大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室 Tel. 06-6879-3456 Fax. 06-6879-3458

The 26th IRSJ (2023) 第 22 回眼科臨床機器研究会 ジョイントセミナー

日 時 2023 年 11 月 11 日（土）

会 場 横浜シンポジア（〒231-0023 横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 9 階） Tel: 045-671-7151

会 長 ジョイントセミナー 清水公也（山王病院アイセンター）

The 26th IRSJ (2023) 神谷和孝（北里大医療衛生）

第 22 回眼科臨床機器研究会 庄司信行（北里大）

プログラム The 26th IRSJ (2023)

メインテーマ「Navigating Vision Improvement～眼鏡・CL の最新情報～」

オーガナイザー：川守田拓志（北里大医療衛生）

モデレーター：神谷和孝、川守田拓志（北里大医療衛生）

「屈折矯正に必要な眼光学と眼鏡作製技能士（仮）」魚里 博（東京眼鏡専門学校）

「コンタクトレンズによる老視矯正の今」塩谷 浩（しおや眼科）

【アフタヌーンセミナー】

共催：千寿製薬株式会社

「知っておきたい抗 VEGF 療法と医療経済の話」

座長：庄司信行（北里大）、演者：柳 靖雄（横浜市大）

第 22 回眼科臨床機器研究会

【講演Ⅰ】「瞳孔計；ヒトミル」モデレーター：龍井苑子（北里大）

1. 「瞳孔と瞳孔計の歴史」前田史篤（新潟医療福祉大）
2. 「従来の瞳孔計とヒトミル」石川 均（北里大医療衛生）
3. 「手持ち式両眼電子瞳孔計ヒトミル」中村 誠（神戸大）

【講演Ⅱ】「近年の眼圧測定」モデレーター：笠原正行（北里大）

1. 「アイケア ic200 手持眼圧計」徳田直人（聖マリ医大）
2. 「アイケアホーム 2 の使用経験」齋藤雄太（昭和大）
3. 「トリガーフィッシュの使用経験」中元兼二（日本医大）

参加登録

ホームページよりご登録ください

会 費

事前登録〔締切日：2023 年 10 月 16 日（月）〕

The 26th IRSJ（2023） 医師・企業研究員 4,000 円，コメディカル 3,000 円

第 22 回眼科臨床機器研究会 医師・企業研究員 4,000 円，コメディカル 3,000 円

2 学会共通 医師・企業研究員 7,000 円，コメディカル 5,000 円

当日登録

The 26th IRSJ（2023） 医師・企業研究員 5,000 円，コメディカル 4,000 円

第 22 回眼科臨床機器研究会 医師・企業研究員 5,000 円，コメディカル 4,000 円

2 学会共通 医師・企業研究員 9,000 円，コメディカル 7,000 円

ホームページ

<https://www.irsjws.com/>

連絡先

スタッフルームタケムラ（有）内 ジョイントセミナー事務局（〒 169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-4-7）

Tel.03-5287-3801 Fax.03-5287-3802 E-mail：rssympo@staffroom.jp

第 61 回日本神経眼科学会総会

日 時

2023 年 12 月 1 日（金）・2 日（土）

会 場

ベルサール新宿グランド

（〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 8-17-3 住友不動産新宿グランドタワー 1F・5F）

会 長

毛塚剛司（東京医大，毛塚眼科医院）

プログラム（予定）

特別講演，招待講演，シンポジウム，一般演題（口演，ポスター），日本神経眼科学会総会，日本神経眼科学会認定講習会，神経眼科知識評価プログラムテスト，視能訓練士セミナー，ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー・イブニングセミナー・モーニングセミナー，器械展示・書籍展示

※詳細は，学会ウェブサイトの「プログラム」ページにてご案内いたします。

参加登録

事前参加登録：2023 年 8 月 10 日（木）～10 月 10 日（火）

※詳細は，学会ウェブサイトの「参加登録」ページにてご案内いたします。

学会ウェブサイト

<https://convention.jtbcom.co.jp/61jnos/>

運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン事業共創部コンベンション第二事業局

〒 541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階

E-mail：61jnos@jtbcom.co.jp

第 21 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

日 時

2024 年 2 月 24 日（土）14：45～18：15

会 場

千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール（〒 560-0082 豊中市新千里東町 1-4-2）

おことわり

コロナ禍の状況によってはハイブリッドあるいは Zoom 開催に変更したり，下記の「ワークショップ」が教育ビデオ視聴に変わることがあります。判明次第，案内させていただきます。

プログラム 講演

「瘢痕期末熟児網膜症患者の視機能予後」 遠藤高生（大阪母子医療センター）

「小児斜視弱視の虹彩に注意—緑内障リスクの早期発見」 白井久美（橋本市民病院）

「虐待による頭部外傷に伴う眼底出血の特徴」 森本 壮（大阪大）

「内斜視における手術量と手術効果の奇妙な関係—手術量と手術効果は相関するのか？」 横山 連（大阪総合医療センター）

「ワークショップ：レチノスコピー」 全メンバー（下記）

登録料 1,000 円（医師・非医師）

主 催 近畿弱視斜視研究会（遠藤高生，不二門 尚，木村亜紀子，雲井弥生，初川嘉一，稗田 牧，三宅三平，森本 壮，村木早苗，野村耕治，近江源次郎，佐々本研二，白井久美，菅澤 淳，杉山能子，築留英之，内海 隆，横山 連）（以上 18 名・ABC 順），参天製薬株式会社

事務局 森本 壮（大阪大学眼科 Tel. 06-6879-3456）